

まつり特別委員会委員長方針

勝野 泰将

委員会日：毎月15日前後

=委員会メンバー=

副委員長：笠原 大祐

<委員長方針>

中津川夏まつりおいでん祭は、市民に郷土愛を育むために、先輩諸兄が情熱を持ち創り上げ、その想いを継承してきたからこそ、2年続けて本祭が中止になった中でも、市民から温かい声をいただくことができ、おいでん祭が市民に郷土愛を育てていたことを改めて感じる機会となりました。だからこそ、私たちは先輩諸兄の想いを継承し、これからも一人でも多くの市民においでん祭をふるさとの良き思い出としていただく必要があります。そのためには、運営側と演者側の想いを一つにして盛り上がるおいでん祭を再び開催する必要があります。そして、おいでん祭に参加・参画する全ての人が、笑顔溢れることで、まちに再び活気をもたらすことができると考えます。

おいでん祭の再開に向けて、各団体が練習や準備に取り組むことができるように、開催できる方法を早期に提案すると共にこれまでの運営方法を見直していかなければなりません。また、メンバーには、役割を明確にし、各団体との繋がりを持っていただくことで、一人ひとりが責任を持って、おいでん祭当日を迎えていただきます。そして、おいでん祭に携わる方々の想いを胸に私たち自身が楽しみながら運営を行い、演者の方々と想いを一つにして盛り上がることで、笑顔が溢れ、熱気を帯びたまつりが開催できると考えます。

私は委員長として、自分がメンバーを引っ張っていくという覚悟を持ち、その背中を見せることで、おいでん祭を今年こそは開催し、まちを盛り上げ、市民に明るい気持ちになっていただきたいという熱意を伝え、一人でも多くの方々を巻き込んでまいります。